

平成30年1月6日
北海道立総合研究機構
中央水産試験場

平成29年度 ニシン漁獲物調査速報(号外1)

水産試験場が実施しているニシン漁獲物調査において得られた情報について、随時お知らせしています。1月5日に石狩、厚田の両地区において青年部が実施したニシン刺し網漁期前試験操業の結果を報告します。石狩湾漁協の皆様、調査へのご協力ありがとうございました。

【結果】

石狩地区

銘柄	1.8寸	2.0寸	2.1寸	2.2寸	2.3寸	合計
漁獲重量(kg)	0.00	185.75	1,136.30	333.20	0.00	1,655.3
漁獲尾数		712	4,166	1,119		5,997
測定尾数		41	40	35		116
測定尾数(精密)		41	40	35		116
平均尾叉長(mm)		283	289	294		288.9
平均体重(g)		261	273	298		276.0
雌の比率		0.54	0.33	0.40		—
完熟率*		0.00	0.08	0.07		—

厚田地区

銘柄	1.8寸	2.0寸	2.1寸	2.2寸①	2.2寸②	2.3寸	合計
漁獲重量(kg)	0.17	6.94	52.80	1.07	13.20	0.00	74.2
漁獲尾数	1	37	217	4	45		304
測定尾数	1	37	42	4	34		118
測定尾数(精密)	1	37	42	4	34		118
平均尾叉長(mm)	252	253	278	287	289		276.5
平均体重(g)	171	188	243	267	291		243.7
雌の比率	1.00	0.59	0.55	0.75	0.50		—
完熟率*	1.00	0.23	0.22	0.33	0.35		—

*メス全体のうち産卵直前もしくはその手前の状態の卵を持つメスの比率

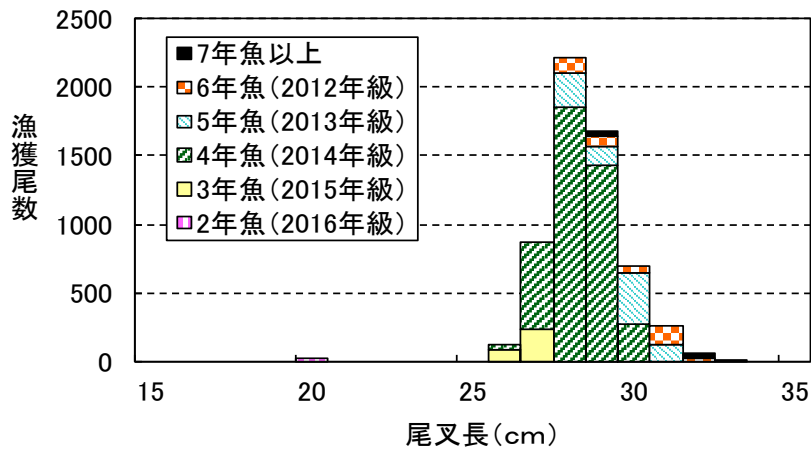


図1 2018年1月5日石狩地区 年齢別尾叉長組成

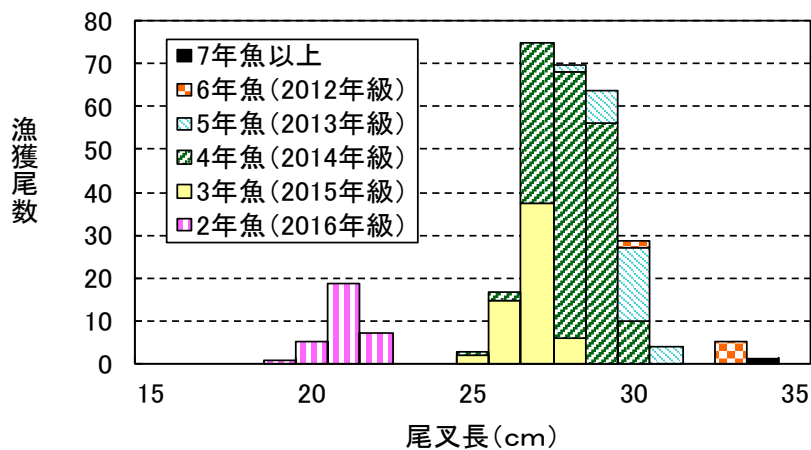


図2 2018年1月5日厚田地区 年齢別尾叉長組成

漁期前調査としては数年ぶりにまとまった漁獲となりました。漁期前予測で今漁期の主体とみなした4年魚(2014年級)が全体の60%程度を占め、両地区とも2.1寸目での漁獲が最多となりました。また、例年漁期序盤の主体となる高齡大型魚の採集がほとんどなかった一方で、3月下旬以降の産卵となる2年魚(2016年級)の採集があり、さらに図には示していませんが15cm程度の0歳魚(2017年級)も採集されました。石狩では大半が、厚田では7~8割程度が未熟卵でした。卵の状態からみて4年魚の卵が完熟となっているのは1月下旬頃からではないかと思われました。気になるのが沿岸の底水温であり、5日時点で新港が5℃台、小樽側が7℃台と例年よりかなり高くなっており、熟卵を持った高齡大型魚が採集されなかった一因となっている可能性があります。水温推移は今後の卵の成熟進行にも大きく影響しますので、推移を注視していきたいと思えます。